

2023年度支援事業（ビジネスプランコンテスト）
課題解決・事業化マッチングコース（プラン募集）

採択ビジネスプラン

プラン名称：名水「野田の清水」復活による地方創生

採択者名：犬丸梅苑（任意団体）

（注）本ビジネスプラン（原文のまま）は、採択者の希望により公表します。
本ビジネスプランの知的財産権は、採択者が有しています。
本ビジネスプランの無断転載、引用を禁止します。

2023年9月1日

主催者 一般財団法人 水・地域イノベーション財団

2023年度 水・地域イノベーション財団 ビジネスプランコンテスト
課題解決・事業化マッチングコース

名水「野田の清水」復活による地方創生

任意団体「犬丸梅苑」

事業概要

犬丸天満宮は901年、菅原道真公が大宰府に左遷の折、嵐に遭い九州犬丸に初上陸、21日間ご逗留の地に、孫の文時が訪問し創建の古社である。菅公は上陸後、「止良石(とらいし)」に腰掛け、「野田の清水」でのどを潤した。止良石は旧蹟として今に残るが、野田の清水は戦後涸れてしまった。菅公が歌に詠んだこの名水を隣接する「犬丸梅苑」内に復活させたい。名水としてだけでなく、まもなく収穫量が増大して行く実梅(南高梅・豊後梅)と清水を組み合わせ商品化を行い、地域活性化活動の源泉としたい。



拝殿と本殿



パワースポット・現在のとらい石



昭和14年の野田の清水

これまでの実績／活動内容

2018年、地域の歴史文化遺産を活かした犬丸区の地方創生事業として「犬丸梅苑」構想を立案、天満宮隣接の竹林3,300㎡を開墾。2020年、太宰府天満宮よりの恵与樹と枝垂れ梅、実梅を植え「植樹祭」を盛大に開催。その後、コロナ禍の中も植樹を重ね2023年の「第1回梅花祭」開催時には100本余りとなり、観梅の名所に。「梅花祭」では、区内のベトナム人技能実習生と共同で、同じく梅の花を飾る、旧正月「テト」コーナーを設置。テト料理で住民との日越国際交流を実現した。マスコミで話題になり、総領事から感謝のメッセージを頂戴した。



令和5年3月5日現在の犬丸梅苑開花状況

チャレンジする課題及び考案の経緯

「野田の清水」の復活、ボーリング計画は以前より度々事業化の話があったが、宗教法人「犬丸天満宮」では行政の補助金事業の対象外となる。今回は「犬丸梅苑」の事業としてだが、単なる飲料水ではだめで農業用水なら農地向け補助金対象になると言われたが、水量的に大規模になり予算的に難しい。そこで飲料水だけでなく、「実梅」と「野田の清水」を使った付加価値商品開発を考えビジネスモデルを作成、今回の応募とした。



犬丸天満宮御神幸祭・藩主小笠原・奥平家より許された大名行列風巡行

菅公御詠
 久方の
 空もはるけき
 雲はれて
 かげ清けなる
 野田沢の水
 孫文時公御詠
 たらちねの
 みゆきのあと
 も
 長閑にて
 残れる水の
 かげもにござじ

菅原道真公も孫の文時公もこの地で「野田の清水」を和歌に遺されている

課題の原因と未解決のままである原因についての考察

ボーリング経費の捻出に当たり、飲料水以外の「野田の清水」の活用法を検討。「犬丸梅苑」の南高梅が来春4年目を迎える。3年目の本年の実ウメの収穫は、100kg程度だったので青梅のまま道の駅に出荷、完売となった。来年以降倍々ゲームで大量の収穫が予想される。この実ウメと野田の清水を組み合わせ、商品化・販売する特産品事業を立ち上げたい。これをもって、区の地方創生事業「犬丸梅苑」のビジネスプランとしたい。



プロジェクトの目的及び課題解決の仕組み

「野田の清水」と「犬丸梅苑の実ウメ」を使い、「野田の梅ジュース」として商品化。地元の特産品として販売する。婦人会等の住民による手作り健康食品として、賞味期限を念頭に少数ずつ製造する。まずは収穫した「青梅」全てを煮て潰し、「梅ペースト」にして冷凍保存。需要に応じてペーストを解凍、沸騰消毒した「野田の清水」と「甘味料」と合わせて瓶詰(4合瓶)する。 ※5倍に薄めて使用する濃度で。



用いるテクノロジーとその理由

深井戸ボーリング工事(100m)とポンプ等揚水設備工事、給水パイプ工事を専門業者に依頼。また、ポンプ用電源配線工事を業者に依頼する。電気代は、犬丸梅苑が負担。また、商品製造作業場として梅園敷地内にプレハブハウス(中古)を新設する。※来年収穫時までには間に合わない場合、作業場は「犬丸集会所調理室」を活用します。



ボーリング工事



プレハブハウス



犬丸集会所調理室

スケジュール

- ①11月上旬～12月上旬:ボーリング工事・ポンプ設置工事、電源配線工事
- ②1月上旬:「野田の清水」石組み工事(清水風に演出)、給水パイプ工事
- ③2月上旬:「第2回梅花祭」実施(「野田の清水」復元式典)
- ④4月上旬～下旬:加工場プレハブハウス設置、保健所へ許可申請
- ⑤6月上旬:実ウメ収穫、「梅ペースト」製造・冷凍保管
- ⑥7月上旬:「野田の梅ジュース」製造・瓶詰、販売



事業用の給水口
は別途配管。



収支計画・資金計画

収入		支出	
財団の補助金	3,000,000	ボーリング工事(@11,000/m)(100m)	1,100,000
		ポンプ代・設置工事揚水管等	350,000
		水質検査採水(県薬剤師会)	10,000
		電気工事代	120,000
		清水石組み工事代	150,000
		プレハブハウス(中古)設置・給水工事	1,200,000
梅ジュース売上720ml(4合瓶) @1,900×500本	950,000	瓶詰機・瓶・栓・冷凍容器・備品等	700,000
		パッケージ・宣伝費	200,000
合計	3,950,000	合計	3,830,000

■初年度利益見込み $3,950,000 - 3,830,000 = 120,000$ 円

※次年度からの収入は梅ジュースの売上のみとなるが、単価1,900円の原価を900円で抑え、1本1,000円の粗利を出したい。今後の収穫増大により、5,000本を超えれば500万円以上の粗利益となる。

※将来的には、10,000本以上の売上で、年間1,000万円以上の利益を出したい。また、加熱で「ムメフラール」という成分が作られ、血流改善効果がある「梅ペースト」そのものも健康食品真空パックとして売り出したい。

主要メンバー紹介(任意団体「犬丸梅苑」)

会 長:中尾英治(犬丸区長)

副会長:田中初男(犬丸副区長)

会 計:木野伸博(中津市職員)

監 査:永吉秀樹(犬丸土木区長)

顧 問:友松光廣(前犬丸区長)

顧 問:中尾 寿(元プラントエンジニアリング企業役員)

アドバイザー:中尾茂夫(元大分県柑橘試験場長)

婦人会:東眞理子(調理師)

事務局:中尾和正(広告制作会社代表)